

東毛地区基幹相談支援センター連絡会（第1回）会議録

1 日時

令和8年7月6日（月）13:30～16:10

2 会場

太田市役所 12階 12D会議室

3 出席機関

- ・ みどり市障がい者基幹相談支援センター
- ・ 太田市障がい者相談支援センター
- ・ 桐生市障害者基幹型相談室
- ・ 館林市邑楽郡4町障がい者基幹相談支援センター

欠席

- ・ 大泉町障害者相談支援センター

4 開催趣旨

東毛地区の基幹相談支援センターが相互に連携し、各地域の相談支援体制や地域課題を共有するとともに、人材育成や広域的な連携のあり方について検討することを目的として、「東毛地区基幹相談支援センター連絡会」を発足した。

第1回目となる今回は、各地域の現状や取組を共有し、今後の連絡会の方向性について意見交換を行った。

5 協議内容

（1）基幹相談支援センターの体制及び各地域の紹介

各基幹相談支援センターから、設置経緯、運営体制、人員配置、担当圏域、主な業務内容等について報告があった。

地域によって体制や委託形態は異なるものの、相談支援体制の充実や地域づくり、人材育成、協議会運営など、基幹相談支援センターに求められる役割は共通していることを確認した。

（2）各地域の相談支援体制の現状について

各地域の相談支援体制について情報共有を行った。

相談支援専門員の不足や一人事業所の増加、新規相談の受入れ体制、担当件数の偏り、人材育成の難しさなど、多くの共通課題が確認された。

また、基幹相談支援センターが初期相談や困難事例への対応を担う場面も多く、本来の役割との整理や行政・委託相談支援事業所との役割分担について継続した検討が必要であるとの意見があった。

主任相談支援専門員の役割やOJT、人材育成の進め方についても地域差があり、広域で情報共有しながらより良い仕組みを検討していくことを確認した。

（3）地域生活支援拠点等への取組について

各地域における地域生活支援拠点等の整備状況や運営方法について情報共有を行った。

特に、

- ・ コーディネーターの配置状況
- ・ 緊急時の受入体制

- 面的整備への取組
- 関係機関との連携
- 運営上の課題

などについて意見交換を行った。

地域によって整備状況に差があることから、今後も継続して情報共有を行い、より効果的な運営方法について検討していくこととした。

(4) 就労選択支援への取組について

令和7年10月から開始された就労選択支援について、各地域の現状や課題を共有した。

制度の理解促進、学校や就労支援機関との連携、アセスメント方法などについて課題が挙げられ、今後対象者の拡大も見据えながら、東毛地区として情報共有と連携を継続していく必要性を確認した。

(5) 今後の進め方について

東毛地区基幹相談支援センター連絡会を継続的な情報共有・意見交換の場として開催し、地域共通の課題について検討していくことを確認した。

今後は、

- 各地域の取組や課題の共有
- 人材育成及びOJTに関する情報交換
- 主任相談支援専門員の活動に関する検討
- 地域生活支援拠点や就労選択支援等の制度動向の共有
- 必要に応じた合同研修や事例検討の実施

などについて、継続して協議していくこととした。

6 まとめ

第1回東毛地区基幹相談支援センター連絡会では、各地域の相談支援体制や基幹相談支援センターの運営状況について共有し、それぞれの地域が抱える課題には多くの共通点があることを確認した。

特に、相談支援専門員の確保・育成、主任相談支援専門員の役割、地域生活支援拠点の充実、就労選択支援への対応などは、東毛地区共通の重要課題であり、広域的な連携によって互いの実践や工夫を共有しながら取り組むことの重要性が確認された。

今後は、本連絡会を継続的な情報共有と連携の場として活用し、東毛地区全体の相談支援体制の充実と人材育成の推進につなげていくことを目指す。